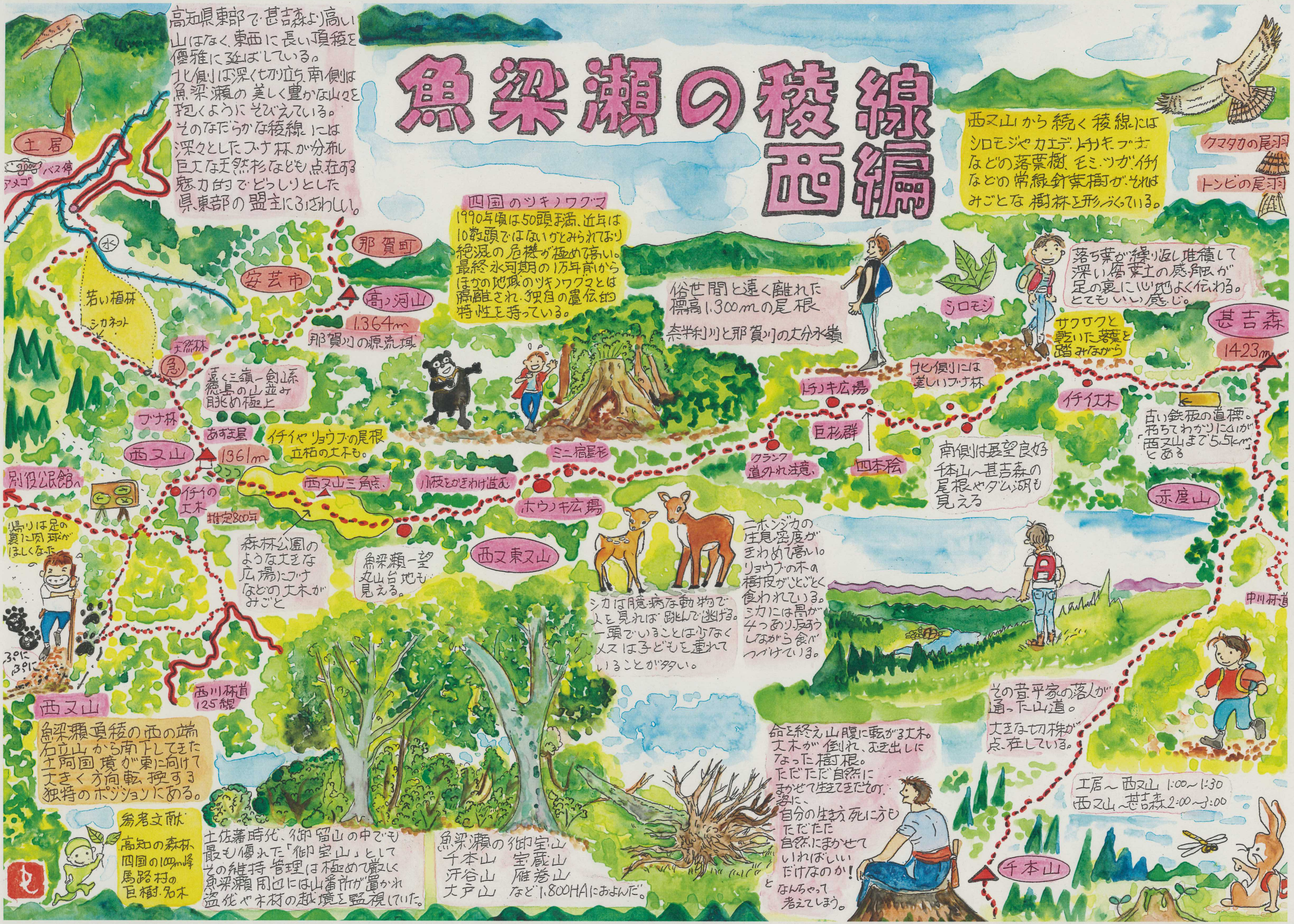
魚梁瀬の稜線
西編


土居
バス停
アメゴ
水
若い植林
シカネット
安芸市
那賀町
高ノ河山
1.364m
那賀川の源流域
天然林
急
ブナ林
あずま屋
西又山
1361m
別役公民館へ
イチイの大木
推定800年
西又山三角点
小枝をかきわけ進む
ミニ宿屋杉
ホウノキ広場
西又東又山
クランク
道外れ注意
巨杉群
四本桧
トチノキ広場
イチイ大木
甚吉森
1423m
シロモジ
赤度山
中川林道
千本山
西又山
西川林道125線
クマタカの尾羽
トンビの尾羽
ぷにぷに
帰りは足の裏に肉球がほしくなった

高知県東部で甚吉森より高い山はなく、東西に長い頂稜を優雅に延ばしている。
北側は深く切り立ち、南側は魚梁瀬の美しく豊かな山々を抱くようにそびえている。
そのなだらかな稜線には深々としたブナ林が分布し巨大な天然杉なども点在する魅力的でどっしりとした県東部の盟主にふさわしい。

四国のツキノワグマ

1990年頃は50頭未満、近年は10数頭ではないかとみられており絶滅の危機が極めて高い。最終氷河期の1万年前からほかの地域のツキノワグマとは隔離され、独自の遺伝的特性を持っている。

遠く三嶺ー剣山系徳島の山並み眺め極上

イチイやリョウブの尾根
立枯の大木も。

俗世間と遠く離れた標高1.300mの尾根

奈半利川と那賀川の大分水嶺

西又山から続く稜線にはシロモジやカエデ、トチノキ、ブナなどの落葉樹、モミ、ツガ、イチイなどの常緑針葉樹が、それはみごとな樹林を形づくっている。

落ち葉が繰り返し堆積して深い腐葉土の感触が足の裏に心地よく伝わる。とてもいい感じ。

サクサクと乾いた落葉を踏みながら

北側には美しいブナ林

古い鉄板の道標。朽ちてわかりにくいが「西又山まで5.5km」とある

南側は展望良好
千本山〜甚吉森の尾根やダム湖も見える

森林公園のような大きな広場にブナなどの大木がみごと

魚梁瀬一望
丸山台地も見える。

ニホンジカの生息密度がきわめて高い。リョウブの木の樹皮がことごとく食われている。シカには胃が4つあり反すうしながら食べつづけている。

シカは臆病な動物で人を見れば跳んで逃げる。一頭でいることは少なくメスは子どもを連れていることが多い。

その昔、平家の落人が通った山道。

大きな切株が点在している。

西又山

魚梁瀬頂稜の西の端
石立山から南下してきた土阿国境が東に向けて大きく方向転換する独特のポジションにある。

参考文献
高知の森林
四国の100m峰
馬路村の巨樹・名木

土佐藩時代、御留山の中でも最も優れた「御宝山」としてその維持管理は極めて厳しく魚梁瀬周辺には山番所が置かれ盗伐や木材の越境を監視していた。

魚梁瀬の御宝山
千本山　宝蔵山
汗谷山　雁巻山
大戸山　など1,800HAにおよんだ。

命を終え山腹に転がる大木。大木が倒れ、むき出しになった樹根。
ただただ自然にまかせて生きてきたその姿に、
自分の生き方死に方も
ただただ
自然にまかせていればいい
だけなのか！
となんちゃって考えてしまう。

工居〜西又山 1:00〜1:30
西又山〜甚吉森 2:00〜3:00